

生徒会総務委員長・中央委員会議長 小泉壮平

私たち桐朋生は中学3年生の修学旅行で毎年宮古市、そしてその地域の方々にお世話になっています。その中でも、田老地区の堤防はとても記憶に残るのもです。世界でも類を見ないほど巨大な堤防で、どんな津波でも防ぐものだと思っていました。

そのため、今回の東北地方を襲った大津波によって田老の堤防が破壊され、甚大な被害を受けたことは桐朋生にとってショックなことでした。そこで私たちは「お世話になっている地域の復興になにか手助けはできないか」と考え、今回の寄付を決めたのです。

この寄付は桐朋祭実行委員会、中央委員会など、生徒会全体の気持ちが込められています。私たちは宮古市並びに、東北地方の一刻も早い復興を願っています。

生徒会副総務委員長 山田健太郎

修学旅行四日目、この日は雨が降っていましたが、龍泉洞見学の後、バスで移動し田老地区に到着。そびえ立つ防潮堤の姿に、僕だけでなく生徒の多くが圧倒されたことと思います。地学の授業で習ったばかりの田老の防潮堤の上を歩きながら、過去にあった三陸地震の様子を思い描いていました。まさか、たった四か月後に大津波が田老の防潮堤を破壊し、町を襲うとは想像も付きませんでした。

僕たち桐朋生は、毎年、田老を訪れ、様々な経験をさせていただいています。桐朋の中学生が大変お世話になっている田老の方々に、このお金が少しでも役立ち、一日も早く復興することを心から願っています。

桐朋祭実行委員長 末次延蔵

お世話になった宮古の方々に何かできないかと僕たちは考え、募金をすることを決めました。復興のためには僕たちの募金は微々たるものですが、少しでもお役に立てたらと思います。またこの微々たることも積み重ねれば大きなものになると思うので、これからも続けていこうと思います。